

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	乳房外パジェット病	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル		
	論文の日本語タイトル	乳房外 Paget 病患者 45 人の臨床病理学的検討	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し ()	
	ガイドライン上での目次名称	PagetCQ8-5	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I V)	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Skin Cancer	
	雑誌 ID		
	巻	16	
	号	1	
	ページ	114-119	
	ISSN ナンバー	0915-3535	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (1)	
	発行年月	2001	
	著者情報		氏名
筆頭著者		町田秀樹	国立がんセンター中央病院皮膚科
その他著者 1		中西幸浩	
その他著者 2		山本明史	
その他著者 3		山崎直也	
その他著者 4		野呂佐知子	
その他著者 5		石川雅士	
その他著者 6		石原和之	
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	腫瘍細胞の深達度と転移の有無の関係を検討する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	国立がんセンター中央病院皮膚科	
	対象者	乳房外 Paget 病患者 45 人	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (1)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (15)	
	介入 (要因曝露)		
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
	1		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	2		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	6		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	7		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ()
9		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
10		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
主な結果	腫瘍細胞の深達度により IE1 (2 人) ,MDI (24 人) ,DI (5 人) ,SI (4 人) 4 つに分類した. 腫瘍細胞が深部へ浸潤するほど転移の頻度が増加し, 予後が悪くなった. 手術方法別では, 術中迅速病理診断を行わずに病変を切除(CE)29 人, 術中迅速病理診断を行い病変を切除(PE)9 人, 機能温存術 7 人であり, 予後に差は認めなかった. 再発率は, 機能温存術 CE, PE の順に高く, 断端陽性率も同様であった. IE と MDI にはリンパ節転移を認めなかった。		
結論	浸潤レベルが予後に最も影響する		

	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	八田尚人
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ I V ） 腫瘍の浸潤レベルと予後を解析した研究として重要である。